

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 浦田日出雄
 事務局長 齋藤 昇一
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 (株) 北海プリント
 TEL (011)811-2396

北海道学校図書館協会 平成24年度の活動始まる

平成24年度の定期総会が、5月12日(土)北海道立道民活動センター(かでの2・7)730会議室を会場に開催されました。ご来賓の方々を代表して、北海道立図書館長 岸 豊 様よりご挨拶をいただきました。

定期総会では、平成23年度の研究・事業活動報告、会計決算報告、監査報告が承認され、更に平成24年度の研究・事業活動計画、会計予算が承認されました。

役員改選が行われ、浦田会長、齋藤事務局長が選出されました。大久保前会長は副会長として、また、野村前事務局長は事務局次長として、新体制を支え活動を推進することとなりました。



◆ 平成24年度 研究・事業活動計画 ◆

(1) 研究活動

1. 第40回北海道学校図書館研究大会・小樽大会の開催準備(平成25年9月20~21日)
2. 第41回北海道学校図書館研究大会・室蘭大会の準備(平成27年度開催)
3. 読書会コーディネータ養成講習会(平成24年7月7日)の開催(全国S L A共催)
4. 第54回北海道図書館大会の開催・協力(平成24年9月)
5. 第45回北海道学校図書館研修講座の開催(平成25年1月7~9日)
6. 各支部及び関係機関(読進協・全国S L A・道立図書館等)との協力研究
7. 全道研究部長会の開催(平成24年9月22~23日)
8. 全校読書活動や朝読書、学校図書館の活用を推進している実践校の把握と情報交流の推進
9. 『実践資料集 学校図書館☆学び方の指導ワークシート集』の普及・活用
10. 北海道地区セミナーの開催検討(支部研究会を拡大して)

の制度化に関する取り組み

11. 「学校図書館図書整備費」の完全消化のための活動の展開、全国パンフレットの活用
12. 学校図書館への新聞購入の取り組み

(3) 普及・事業活動

1. 第58回青少年読書感想文全道コンクール、第38回北海道指定図書読書感想文コンクールの開催
2. 第33回絵と文による冬休み読書大賞の実施
3. 平成24年度版読書感想文集『北海道の読書』の発行・普及
4. 優良図書選定研修会 毎月2回(於札幌市教育委員会)
5. 毎月の優良図書の紹介
「夏休みにおすすめする図書」選定・紹介
「冬休みにおすすめする図書」選定・紹介
6. 平成24年度版『北海道青少年のための200冊』の普及
7. 第38回北海道指定図書の普及、第39回北海道指定図書の選定
8. いせひでこ原画展・講演会(平成24年6月2日~7月16日まで)の開催
北海道立文学館との共催

(2) 組織・運動活動

1. 全国S L A機関誌『学校図書館』の購読、普及促進 S L B Aの加入促進と活用普及
2. 支部組織強化と道事務局(幹事)拡大の取り組み
・支部研究会・研修会、その他研究会への講師派遣
・石狩地区支部の立ち上げ、日高地区支部の再開
・全道への情報発信・提供
・道事務局(幹事)の組織拡大
3. 各支部間の情報交流(広報・ホームページ・全道研究部長会など)
4. 機関紙『北海道の学校図書館』278~281号 4回発行
5. ホームページの効果的運用と情報交流の促進
6. 「次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン」実体化のための活動の展開
7. 司書教諭の配置促進と図書館担当者の組織化
8. 「読書の時間」を活用するなど読書活動の推進
9. 「朝読書」の啓発・普及
10. 学校司書の実態調査と配置拡大の要請、学校司書

(4) 協賛・協力活動

1. 第40回中学生作文コンクール審査協力(事務局・6支部)
2. 第34回全道高等学校図書研究大会・十勝大会(高文連)への協力
3. 第35回北海道子どもの本のつどい(留辺蘂町・置戸町大会)への協力
4. 石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会への協力
5. 出版図書の推薦
6. 公共図書館・および図書館に関わる各種文化行事等への協力・援助
7. 優良児童図書展示会への協力(トーハン、NAC、学協など)
8. トーハンブックフェア2012への協力

会長挨拶



今年度、北海道学校図書館協会（北海道S L A）は、発足63年目を迎えますが、この5月、微力ながら大久保前会長の跡を引き継ぎ、会長職を仰せつかることになりました。歴史と

伝統のある北海道S L Aの会長という、その職責の重さに身が引き締まる思いです。新役員一同、力を合わせて本会の諸事業・諸活動の推進に精一杯取り組んでまいりたいと思います。全道各支部の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、北海道、北海道教育委員会、北海道立図書館をはじめ各関係機関の皆様には、昨年同様に多大なご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、昨今の学校図書館を取り巻く状況を見ますと、平成19年度から開始された「第3次学校図書館図書整備5か年計画」に引き続き、今年度から「第4次学校図書館図書整備5か年計画」（単年度で約200億円、総額1,000億円）が開始されました。学校図書館図書標準の達成を目指して、その円滑な予算執行が強く望まれるところであります。また、学校司書（専ら学校図書館に関する業務を担当する職員で、教員やボランティア以外の者）を配置する公立小中学校が近年増加していることから、単

北海道学校図書館協会会長 浦田 日出雄 (札幌市立西岡小学校長)

年度150億円、更に、新聞を活用した学習を行うための環境を整備するため、図書整備とは別に、単年度約15億円、総額約75億円の地方財政措置が行われることになりました。これらのことは、学校図書館の活動を支えてきた多くの方々のご尽力の賜と幸いです。しかし、更なる学校図書館の充実・発展を目指し、司書教諭制度の充実、学校司書の配置、教育課程への「読書の時間」の設定などの課題に対しての取組を全国S L Aと連携しながら進めてまいりたいと考えております。

全国S L Aでは、2月の総会時に衆議院議員、参議院議員宛に要望書を提出しておりますが、本道の状況を見ますと、学校図書館の「読書センター」・「学習・情報センター」としての機能が十分でなく、また、これらの目的に十分な予算措置がなされないこともあり、北海道教育委員会等に協力をいただきながら、各市町村において学校図書館の充実がなされるよう努力しているところであります。各支部においても、活動の中に、教育委員会と連携するなど具体化に向けて取り組みいただきますようお願いいたします。

結びになりますが、総会で報告されました来年度に開催されます小樽大会に向けて、全道各支部の皆様のご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



～北海道立文学館 いせひでこ絵本の世界展 開催に寄せて～ 子どもがほしかった七つめのいろは——



北海道で生まれ13歳まで札幌で育った。目や耳やこころのはじまりの記憶は、5歳の函館からだ。タンポポも雪も、無限に湧いてくるものだったから、木に登ると「永遠」をひたすら眺めていた。無言で白い紙に顔をうずめ、6本のクレヨンで絵を描いていた。何か一色足りないような気がしていた。

「記憶は過ぎ去ったものことではなく、むしろ過ぎ去らなかつたものことだ」と、詩人の長田弘さんは言う。さらに詩人は「記憶という土の中に種子をまいて、季節のなかで手をかけて育て」「自分の記憶をよく耕すこと」と。

このたび、道立文学館での絵本原画展がない、初日の3日間、毎日中島公園を歩いた。リラ、アカシア、ナナカマドが白く光って、たんぽぽの坊主がシャボン玉みたいに揺れている6月の北の故郷。公園の数えきれない緑のバリエーションに酔ったように歩き回り、ボダイジュの不思議な葉と花に見入った。そして、私の絵本の物語は、記憶の庭に育ったものだったという気づきに目眩がした。

身体中の細胞が音をたてて解放されていた。神経も感受性も、心身も、好きな色も、ぶっきらぼうな言葉使いも、この北の国の風景のいたるところから芽を出し根をのばしていたのだ。

昨年『七つめの絵の具』が北海道指定図書になったの

いせ ひでこ

をきっかけに、札幌で原画展をと、学校図書館協会の野村邦重先生からお話をいただいた。しかし——

手紙とメールで通信しあう中、3月11日の大震災と原発事故。日本中が信じられるものを失い、風景を喪い、自分の存在さえ不確かになったあの日を挟んでも、開催をつづけてくれていた世田谷文学館の私の絵本原画展に、3月末、野村先生はやって来られた。こんな時だからこそと、野村先生たちは動いてくださった。

3. 1 1の混沌の中から滲み出してきたのは「記憶」と「未来」だった。記憶の庭の種子たちが紡いだ『七つめの絵の具』、そのことばと「影とひかり」のようになって、形を表した絵本の原画を北海道に——。

『ルリユールおじさん』は私の中の手の記憶、『大きな木のような人』は登った数知れない木の感触、『にいさん』は時代も国境も言語も超えたところで響きあった彷徨える目の記憶と、きっと子ども時代への深い信頼のかたちだ。

道立文学館開催の「いせひでこ絵本の世界」展に先立ち、附属中の級友たちが集まってくれた。記憶は1人で成り立っているものではなかった。

絵描きになってたくさん色を知ったが、未だ行き着かない色がある。5歳の子どもがほしかった七つめのいろは——過ぎ去らなかつた『あ之路』に、歩く跡から跡から生まれくる風の色だから——

※文中の『 』は、すべて今回の原画展に出品している絵本のタイトルです。

第38回 全国学校図書館研究大会 米子大会

研究主題

学びを広げる ひとをはぐくむ 学校図書館
～ ことばの力を培い、豊かな出会いを創る ～

【開催要項】



【鳥取県・読書トリピー】

主催 鳥取県教育委員会 (公社)全国学校図書館協議会 鳥取県学校図書館協議会
後援 文部科学省・鳥取県・米子市
協賛 鳥取県小学校長会 鳥取県中学校長会 鳥取県高等学校長協会 鳥取県特別支援学校長会
 鳥取県私立中学高等学校長会 鳥取県小学校教育研究会 鳥取県中学校教育研究会
 鳥取県特別支援教育研究会 鳥取県国公立幼稚園長会 鳥取県私立幼稚園協会
 鳥取県国公立幼稚園教育研究会 鳥取県子ども家庭育み協会 鳥取県PTA協議会
 鳥取県高等学校PTA連合会 鳥取県図書館協会 (公財)日本教育公務員弘済会鳥取支部

趣旨 新学習指導要領では、「言語活動の充実」「主体的に学習に取り組む態度」が一層重視され、学校図書館を活用しようとする意識がますます高まってきた。学校図書館は、学びへの意欲を引き出し、自ら学ぶ力と豊かな心を育む場として、学校教育の中核的役割を担うものとして期待されている。

鳥取県では、学校の規模にかかわらず全校に司書教諭が配置され、県立高等学校には正規の学校司書も配置されている。司書教諭は、学校司書と協働しながら、公共図書館をはじめ、地域とも連携して、学校図書館を活用した授業を工夫している。

本大会では、講演、講義、研究討議、ワークショップなどを通して、これからの学校図書館の経営・運営について学び合いたい。

期日 平成24年8月8日(水)～10日(金)

会場 米子コンベンションセンター (JR米子駅から徒歩5分)
米子市文化ホール (JR米子駅から徒歩4分)

参加者 趣旨に関心をもつ方ならどなたでも参加できます。

定員 2,000人

参加費 6,500円(参加費・資料代・大会報告書を含む) 学校図書館を語る夕べ 4,500円

講演講師 工藤直子(詩人)、松本猛(ちひろ美術館)、今西乃子(児童文学作家)
岩崎夏海(作家)、村尾靖子(作家)、こうやまのりお(作家)
井上一郎(京都女子大学)、姜尚中(東京大学)

フォーラム ①鳥取県の司書教諭全校配置について
②学校司書の活動の活性化

日程 【第1日目】 8月8日(水)

9:30	10:30	12:00	13:30	14:50	15:20	16:40	17:30	19:30
受付	開会式 全体会	昼食	分科会 ①	移動 休憩	分科会 ②	移動	学校図書館を 語る夕べ	

【第2日目】 8月9日(木)

8:40	9:10	10:30	11:00	12:20	13:30	14:50	15:20	16:40
受付	分科会 ③	移動 休憩	分科会 ④	昼食	分科会 ⑤	移動 休憩	分科会 ⑥	

学校図書館視察見学

【第3日目】 8月10日(金)

8:40	9:10	10:30	11:00	12:20	12:40	12:55
受付	分科会 ⑦	移動 休憩	分科会 ⑧	移動 休憩	閉会式	

※他にも様々なシンポジウム、フォーラムなどが組まれています。
※詳しくはホームページで確認してください。

(大会内容のお問い合わせ先)

第38回全国学校図書館研究大会 米子大会事務局長

鳥取県境港市立境小学校長 松田 寛彦
〒689-0031 鳥取県境港市湊町27番地
FAX 0859-42-3702

〇〇〇 平成24年度 北海道学校図書館協会役員 〇〇〇

役員名	氏名	所属学校名
会長	浦田 日出雄	札幌市立西岡小学校 校長
副会長(小)	大久保 雅人	札幌市立福住小学校 校長
副会長(中)	門前 智	札幌市立もみじ台中学校 校長
副会長(高)	滝本 茂	札幌啓北商業高等学校 校長
副会長(高文連図書)	辻 敏裕	札幌南高等学校 校長
副会長(札幌市)	開発 好博	札幌市立北野中学校 校長
副会長(函館市)	三島 千春	函館市立鍛神小学校 校長
副会長(小樽市)	岡田 雅彦	小樽市立銭函小学校 校長
副会長(室蘭市)	酒井 浩一	室蘭市立星蘭中学校 校長
副会長(旭川市)	稲垣 克男	旭川市立新富小学校 校長
副会長(帯広市)	豊田 利一	帯広市立南町中学校 教頭
副会長(釧路市)	庄子 剛	釧路市立美原小学校 校長
副会長(苫小牧市)	渡部 哲	苫小牧市立北星小学校 校長
副会長(十勝地区)	椎林 達也	中札内村立中札内小学校 教頭
監査(小)	丸山 幸雄	札幌市立澄川西小学校 校長
監査(中)	赤岩 輝雄	札幌市立東白石中学校 校長
監査(高)	佐々木 高至	札幌平岸高等学校 校長
理事長	中橋 理子	札幌市立二条小学校 校長
理事	米田 祥子	札幌市立石山南小学校 校長
理事	栗原 靖	札幌市立発寒小学校 校長
理事	大島 孝子	札幌市立栄町小学校 教諭
事務局 局長	齋藤 昇一	札幌市立簾舞中学校 校長
事務局 次長	野村 邦重	札幌市立平和通小学校 教諭
事務局 次長	本間 聡	札幌市立豊滝小学校 教諭
兼) 総務部長	村山 知成	札幌市立栄西小学校 教諭
兼) 事業部長	飯島 道恵	(元中学校 教諭)
幹事(研究部長)	佐藤 敬子	札幌市立発寒中学校 教諭
幹事(選定部長)	山本 裕子	(元高等学校 司書)

〇〇〇 支部事務局一覧 〇〇〇

支部	会長	会長勤務先	事務局長	事務局長勤務先	電話
札幌市	開発 好博	札幌市立北野中学校 (校長)	綿谷 聡	札幌市立厚別北中学校 (教諭)	011-895-7461
函館市	三島 千春	函館市立鍛神小学校 (校長)	風間 睦月	函館市立万年橋小学校 (教諭)	0138-42-0861
渡島地区	増川 正志	森町立森小学校 (校長)	田子 信	森町立森小学校 (教諭)	01374-2-2113
小樽市	岡田 雅彦	小樽市立銭函小学校 (校長)	森 万喜子	小樽市立松ヶ枝中学校 (教頭)	0134-25-5528
岩見沢市	佐藤 智幸	岩見沢市立志文小学校 (校長)	金子 智里	岩見沢市立上幌向中学校 (教諭)	0126-26-2962
滝川市	大石 良明	滝川市立滝川第三小学校 (校長)	佐々木 祐治	滝川市立滝川第三小学校 (教頭)	0125-24-6107
空知地区	児島 理一郎	深川市立多度志小学校 (校長)	阿部 博昭	長沼町立南長沼小学校 (教頭)	0123-84-2104
旭川市	稲垣 克男	旭川市立新富小学校 (校長)	藤田 幸	旭川市立啓明小学校 (司書教諭)	0166-31-4195
士別市	中村 勝治	士別市立上士別中学校 (校長)	吉田 晋	士別市立上士別中学校 (教頭)	0165-24-2681
留萌市	福原 富子	留萌市立留萌中学校 (教諭)	山形 勉	留萌市立港南中学校 (教諭)	0164-42-1898
増毛町	里見 清孝	増毛町立舎熊小学校 (校長)	若林 利行	増毛町教育委員会(文化課長)	0164-53-2427
北見市	田中 達夫	北見市立三輪小学校 (校長)	三宅 直哉	北見市立三輪小学校 (教頭)	0157-36-2241
網走市	石橋 一郎	網走市立潮見小学校 (校長)	小松 秀治	網走市立潮見小学校 (司書教諭)	0152-43-5814
紋別市	中村 祐司	紋別市立南丘小学校 (校長)	大野 紘	紋別市立南丘小学校 (教諭)	0158-24-3487
小清水町	諏江 信夫	小清水町立小清水小学校 (校長)	寺嶋 誠也	小清水町立小清水小学校 (教頭)	0152-62-2053
大空町	幸谷 勝一	大空町立女満別中学校 (校長)	汐後 克也	大空町立女満別中学校 (教頭)	0152-74-2234
美幌町	永井 英俊	美幌町立旭小学校 (校長)	平野 秀樹	美幌町立旭小学校 (教頭)	0152-73-4422
室蘭市	酒井 浩一	室蘭市立星蘭中学校 (校長)	真砂 初美	室蘭市立北辰中学校 (教諭)	0143-22-8188
苫小牧市	渡部 哲	苫小牧市立北星小学校 (校長)	井村 友美	苫小牧市立北星小学校 (教諭)	0144-74-2155
帯広市	豊田 利一	帯広市立南町中学校 (教頭)	杉林 卓	帯広市立柏小学校 (教諭)	0155-23-1234
十勝地区	椎林 達也	中札内村立中札内小学校 (教頭)	川口 珠美	豊頃町立豊頃中学校 (教諭)	0155-74-2427
十勝地区高校	三浦 邦朗	白樺学園高等学校 (校長)	高橋 正紀	白樺学園高等学校 (教諭)	0155-62-7411
釧路市	庄子 剛	釧路市立美原小学校 (校長)	千田 充	釧路市立青陵中学校 (教諭)	0154-46-1161

(平成24年6月現在)

平成24年度 第58回 青少年読書感想文全道コンクール 実施要領

第38回 北海道指定図書読書感想文コンクール

1. 目的 ・青少年に読書を奨励し、明日の社会を担うにふさわしい人間の育成を図る。
・読後に自分を考えさせ、自己の生活の充実と豊かな心情を養う。
2. 主催 北海道学校図書館協会 毎日新聞社北海道支社
3. 後援 北海道 北海道教育委員会 北海道青少年育成協会
4. 応募資格 満20歳（1992年4月2日以降出生の者）までとする。
5. 対象図書 自由（読書） 自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問わない。
課題（読書） 全国学校図書館協議会が指定した図書
指定（読書） 北海道学校図書館協会が指定した図書
6. 区分 ①小学校低学年の部 ②小学校中学年の部 ③小学校高学年の部 ④中学校の部
⑤高等学校の部 ⑥勤労青少年の部
7. 字数 小学校…（低学年の部800字以内・中、高学年の部1200字以内）中・高・勤…2000字以内（400字詰め原稿用紙使用のこと。学校名入りのものは使用しないこと。）
8. 応募作品 各対象（図書）ごと一人1点、未発表のもの。作品は自筆のこと。複数作品応募可。
在籍学校を通じ、各支部に提出する。応募票に必要事項を記入の上、作品に添付すること。
支部からの応募には点数枠があります。直送の場合にも厳選の上、ご応募下さい。
9. 応募締切 (1) 各支部締切 平成24年夏休み明けから9月中（支部毎に設定）
(2) 北海道締切 平成24年10月11日（木）必着
10. 入賞発表 11月中旬 受賞者・該当学校長・各支部に連絡
12月上旬 新聞発表等
11. 表彰式 平成24年12月2日（日） 場所～センチュリーロイヤルホテル
12. 賞 特別賞（知事賞など40人前後）
優秀賞（60人前後）
優良賞（100人前後）
13. 作品送付先 〒062-0043 札幌市豊平区福住3条5丁目1-1
札幌市立福住小学校 大久保雅人
☎（011）854-1318 FAX（011）854-1428

第58回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

	著者名	書名	出版社	定価
小学校低学年	まつおか たつひで 作・絵	ぼくがきょうりゅうだったとき	ポプラ社	1,365
	もりやま みやこ 作 いしい つとむ 絵	またおいで	あかね書房	1,050
	アンナ・ケンプ ぶん サラ・オギルヴィー え かどの えいこ やく	パンケーキを食べるサイなんていない？	B L 出版	1,575
小学校中学年	浜田 桂子 作	へいわってどんなこと？	童心社	1,575
	梨屋 アリエ 作 菅野 由貴子 絵	ココロ屋	文研出版	1,260
	堀米 薫 作 小泉 るみ子 絵	チョコレートと青い空	そうえん社	998
	アイリーン・スピネリ 文 マット・フェラン 絵 渋谷 弘子 訳	ここがわたしのおうちです	さ・え・ら書房	1,365
小学校高学年	なかがわ ちひろ 作・絵	カモのきょうだいクリとゴマ	アリス館	1,470
	小手鞠 るい 作	心の森	金の星社	1,260
	グザヴィエ＝ローラン・プティ 作 浜辺 貴絵 訳	走れ！マスワラ	PHP研究所	1,470
	モリー・バング 作 さくま ゆみこ 訳	わたしのひかり	評論社	1,470
中学校	こうやま のりお 著	ピアノはともだち ：奇跡のピアニスト辻井伸行の秘密	講談社	1,260
	高橋 秀雄 作 森 英二郎 画	地をほう風のように	福音館書店	1,575
	パトリック・ネス 著 シンヴォーン・ダウド 著 池田 真紀子 訳	怪物はささやく	あすなる書房	1,680
高等学校	大木 聖子 著	地球の声に耳をすませて ：地震の正体を知り、命を守る	くもん出版	1,470
	朽木 祥 著	オン・ザ・ライン	小学館	1,575
	ジャクリン・ケリー 作 斎藤 倫子 訳	ダーウィンと出会った夏	ほるぷ出版	1,575
	池上 俊一 著	パスタでたどるイタリア史	岩波書店	1,029

第58回 青少年読書感想文全道コンクール
第38回 北海道指定図書読書感想文コンクール

応募のきまり

平成24年度 (2012年度)

1 ● 目的

- (1)北海道に住む青少年に広く読書を奨励し、明日の社会を背負うにふさわしい人間の育成をはかる。
- (2)読書は、人間形成に寄与する部面が多くあり、このことから読後に自分を考えさせ、自己の生活の充実をはかり、豊かな心情の育成につとめる。

2 ● 主催

北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

3 ● 後援

北海道・北海道教育委員会・北海道青少年育成協会

4 ● 応募資格

満20歳 (1992年4月2日以降出生の者) までとする。

5 ● 対象図書

- (1)自由(読書)——自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
- (2)課題(読書)——[課題図書]全国学校図書館協議会が指定した図書
- (3)指定(読書)——[北海道指定図書]主催者の指定した図書

6 ● 区分

- (1)小学校低学年の部 (1、2年)
- (2)小学校中学年の部 (3、4年)
- (3)小学校高学年の部 (5、6年)
- (4)中学校の部
- (5)高等学校の部
- (6)勤労青少年の部

7 ● 応募締切

- (1)各支部締切 平成24年夏休み明けから9月中(支部毎に設定)
- (2)北海道締切 平成24年10月11日(木) 必着

※自筆の応募作品で、最終まで審査を行います(返却はしません)。お手元にコピー等をとられてから、ご応募ください。

8 ● 字数

①400字詰原稿用紙使用、校名等記入されたものを使用しないこと。②小学校低学年800字以内、小学校中・高学年1,200字以内、中・高・勤労2,000字以内、③句読点1字、改行のための空白箇所は字数として数える。④規定の文字数に達しない、字数の少ない、短い作品は道審査では対象にはなりません。しっかりと書いてください。

9 ● 応募作品

- (1)各対象(図書)ごと一人1点未発表のもの。複数作品応募可。在籍学校を通じ(校内審査後)市、町、地区各支部に提出のこと。支部の確認等はホームページをご覧ください。(6月以降、今年度の支部明記)北海道学校図書館協会でご確認ください。
- (2)支部のない場合は、直接北海道学校図書館協会へ。支部からの応募には点数枠があります。直送の場合にも厳選の上、ご応募ください。
送り先〒062-0043 札幌市豊平区福住3条5丁目1-1
札幌市立福住小学校 大久保 雅人
TEL 011-854-1318 FAX 011-854-1428
- (3)作品は自筆のこと。(コピーは不可、自筆不可能な場合は理由を添える)
- (4)必要事項を応募票に記入し、作品の右上にとじる。
- (5)作品(原稿用紙)には、ますの外に感想文の題名のみを記入し、直接文を書き出すこと。学年、氏名等も不要。

10 ● 入賞発表

- (1)支部——10月中に各支部ごとに発表
- (2)全道——11月中旬、受賞者、該当学校長、各支部に連絡
12月上旬、新聞発表等

11 ● 表彰式

平成24年12月2日 日曜日 特別賞・優秀賞の受賞者
於：札幌市内ホテル(センチュリーロイヤルホテル)

12 ● その他

応募作品には必ず応募票(全国の様式に準ずる)をつけること。応募票には、必要事項を漏れなくはつきりと記入すること。

(キリトリセン)

第58回 青少年読書感想文全道コンクール
第38回 北海道指定図書読書感想文コンクール

応募票

応募箇所○ 自由 課題 指定

(キリトリセン)

感想文の題名											
所	北海道	郡	市	町	村	学校所在地	(〒	(TEL	-	-)
属	(ふりがな) 学校名 (正式名称で)	()	(立)	学校	(電話番号は市外局番も記入してください)	-	-	-	-)
属	勤務先 (勤労青少年のみ記入)	職業	勤務先住所	(〒)	(TEL	-	-	-	-)
応募者	応募区分	小低・小中・小高・中・高 (学年)・勤	生年月日・年齢	年	月	日生(歳)	男	女			
対象図書	(ふりがな) 氏名	現住所	(〒)	(TEL	-	-	-	-	-)
対象図書	著者・编者・訳者 画家(絵本のみ)	書名									
対象図書	出版社	発行年・定価・判型・ページ数	発行年	定価	判型	タテ	cm	ページ数			
感想文執筆に際し参考にした資料の有無 (どちらかを○で囲んでください)		有・無	(参考にしたもののタイトル、HPアドレス、ページ等、具体的にくわしく記入してください)								

※わかりやすく楷書で書いて作品の上にとじてください。
※応募票が不足のときは、これと同じものを作ってください。

※応募区分、男・女別等は該当文字を○で囲んでください。
※お預かりした個人情報は本事業以外の用途には使用しません。

学校図書館情報

◆平成24年度 北海道学校図書館協会 定期総会開催される。

5月12日(土)に、北海道立道民活動センター(かでの2・7)730会議室を会場として、全道各地から12支部、ご来賓(北海道立図書館長、北海道教育庁生涯学習推進局、北海道青少年育成協会、北海道高等学校PTA連合会、トーハン、図書館ネットワークサービス、毎日新聞社、北海道新聞社、北海道通信社)、OB会員、役員・幹事の方々など40名が参加して、平成24年度定期総会が開催されました。

第39回北海道学校図書館研究大会十勝大会の成果を受け継ぎ、第40回小樽大会の成功を目指した取り組みの強化、支部組織の強化と道事務局(幹事)の組織拡大、ホームページの全面更新により効果的な情報発信の推進、学校司書の配置拡大・制度化に向けた取り組みの強化、学校図書館の一層の充実・活用などが確認されました。

今年度も各支部のご協力、ご支援をよろしくお願いたします。

◆「北海道指定図書」の普及・活用を

「北海道指定図書」の学校図書館での購入を広げましょう。読書感想文コンクールの課題図書と一緒にセットで購入しましょう。

◆「絵と文による冬休み読書大賞」開催内容変更

第33回絵と文による冬休み読書大賞が、無事開催できることになりました。今回は、推せん図書はありません。平成24年度「北海道青少年のための200冊」が対象図書です。継続に向けて協賛社の確保と応募数の増加が課題です。小学校では図画・工作で読書感想画の題材が教科書に掲載されています。学校ぐるみ、学年ぐるみで取り組み、応募をお願いします。

◆平成24年度「北海道青少年のための200冊」リスト

北海道青少年育成協会から6月中旬に、道内すべての学校・公共図書館・教育委員会などに配付されます。北海道の子どもたちが手にして読んで欲しい本のリストです。活用と普及をよろしくお願いたします。

◆第34回全道高等学校図書研究大会のお知らせ

- ・テーマ 「本を読モ一、知恵を搾らう
広大な知識の畑から実りある図書館活動を」
- ・日時 平成24年10月4日(木)・5日(金)
- ・会場 帯広市民文化ホール・十勝プラザほか
- ・主催 北海道高等学校文化連盟 北海道教育委員会
- ・当番校 白樺学園高等学校

事務局

事務局長 齋藤 昇一 (札幌簾舞中学校校長)
TEL 011-596-2320
FAX 011-596-2321
事務局校 札幌市立平和通小学校
事務局次長 野村 邦重
〒003-0027 札幌市白石区本通15丁目北3-1
TEL 011-863-0235 FAX 011-863-0265

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

◆北海道学校図書館協会 推せん図書

『子どもの詩 サイロ』創刊50周年記念特集《普及版》サイロの会/編 響文社 2012.4刊 1,365円(税込)
谷川俊太郎さんの詩と池澤夏樹さんの文は必見！
子どもの詩は古くならない。宝物がいっぱいつまった1冊。

◆全国SLA編『学校図書館 基本図書目録』

2010.10~2011.12
全国SLA 2012.4刊 1,680円(税込)
小・中・高校学校図書館向けの選書ツールが、より使いやすいリニューアル。
全国SLA選定図書から、学校図書館蔵書の中核となる図書を厳選。961タイトル収録。
1タイトルごとに内容の解説、分類・学校向け件名など書誌情報付き。

◆第40回中学生作文コンクールのテーマ決まる。

今年のテーマは、「勇気」です。
応募期間：7月1日(日)~9月30日(日)
結果発表：平成25年1月4日(金)を予定
募集要項などは、毎日新聞社から発送となります。
多数の応募を期待します。

編集後記

木々の緑や花々の美しい季節になりました。6月も半ばをすぎ、皆様にはお忙しい毎日をお過ごしのことでしょう。新年度最初の本号は、平成24年度研究・事業活動計画を始めとして、8月に開催される全国学校図書館研究大会米子大会、青少年読書感想文全道コンクールについてお知らせしています。

今年度もこの機関紙を通して学校図書館の「読書センター」「学習・情報センター」としての機能向上に役立つような情報を少しでも多くお届けしたいと考えております。ご意見ご要望などありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。

(編集：齋藤 昇一 杉本 操 村山 知成)
大久保雅人 野村 邦重 飯島 道恵)

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>